

【古辞書・国語・国文学】

京都大学文学部 編/阪倉篤義解題
国語学国文学研究室

天治本 新撰字鏡増訂版

附享和本・群書類従本

〔古典・古辞書叢刊1〕

■B5判・クロス装・928頁

本体18,000円＋税

昌泰年間(898～901)の末か、延喜のはじめ頃までに僧昌住によって編纂されたと考えられる、我が国人の考案に成る和名注のある最も古い辞書の一つ。昭和19年の初版本に享和本・群書類従本を加え、新たに解題と漢字部首索引を付した本書は、古代語研究の資料として絶大な価値を有する。

ISBN978-4-653-00029-7 [67/12][99/11]

京都大学文学部 編
国語学国文学研究室

天治本 新撰字鏡国語索引

享和本

〔古典・古辞書叢刊2〕

■B5判・クロス装・280頁

本体8,000円＋税

新撰字鏡の天治本及び享和本に見える和訓、並びにこれに準ずると認めうべき語を、50音順に配列標出し、特にその中の複合語については、その構成要素からもこれを検索しうるように作成されている。本文は天治本を底本とし、享和本と対校の結果も示す。旧版の誤りを正し、新たに見出し語の漢字に振仮名を付して再刊。

ISBN978-4-653-00566-7 [58/11][99/11]

京都大学文学部 編/濱田 敦解題
国語学国文学研究室

諸本 倭名類聚抄 外篇

集成

日本地理志料一和名類聚抄國郡郷里部箋注

〔古典・古辞書叢刊12〕

■B5判・クロス装・874頁

本体17,000円＋税

郵岡良弼の大作「日本地理志料」71巻を取める。「日本地理志料」は、10巻本和名抄に欠けている国郡郷里部の箋注として、実質的には、椋斎の箋注和名抄の続篇と言ふべきもので、古代地名についての、比類のないすぐれた文献である。また地名辞書としても役立つように、内務省地理局編の「和名類聚抄地名索引」を影印して付した。

ISBN978-4-653-00508-7 [77/9][94/7]

京都大学文学部 編/阪倉篤義解題
国語学国文学研究室

諸本 倭名類聚抄 索引篇

集成

〔古典・古辞書叢刊4〕

■B5判・クロス装・530頁・解題16頁

本体11,000円＋税

本篇には、阪倉篤義博士編になる国語索引一和訓・見出し漢字索引をはじめ、元和本・高山寺本の地名仮名索引および地名漢字索引の5種と、同博士執筆の詳細な解題を付す。更に「本文篇補遺」として、「箋注倭名類聚抄校讎並異体字弁」および、光緒丙午年に中国人楊守敬が校刊した、いわゆる5巻本の「下総本」を影印、附録とした。

ISBN978-4-653-00509-4 [68/9][99/1]

ヴァチカン図書館・京都大学文学部国語学
国文学研究室共同出版/岸本恵美翻刻・解説

ヴァチカン 葡日辞書

図書館蔵

■菊判横綴・上製・函入・影印182頁・新組312頁

本体12,700円＋税

本書はアルファベット順に並べたポルトガル語の見出しにイエズス会式のローマ字綴りで日本語訳を付した対訳辞書で、他に類を見ない貴重なキリシタン資料である。今回初めて紹介されるヴァチカン図書館所蔵写本の全影印にあわせ、翻刻・日本語索引・解説を付し利用の便を図った。国語史・キリシタン史・中世史研究の貴重資料。

ISBN978-4-653-03607-4 [99/11]

吉田金彦著

古辞書と国語

■A5判・上製・約400頁

本体8,000円＋税

国語学の大家として知られる著者が、長年にわたって研究を積み重ねてきた『類聚名義抄』、『韻字集』ほか古辞書についての研究論文を精選。名著とされる『図書寮本類聚名義抄出典攷』など、名在では参照困難となっている論考を、改訂のうえ収録した。関連分野の研究者にとって必携の書である。

ISBN978-4-653-04059-0 [13年春刊行予定]

建仁寺兩足院蔵
伊藤東愼・大塚光信・安田 章 共編

兩足院蔵 日本書紀抄

■ A5判・クロス装・影印522頁・付解説(小林千草)
本体14,000円＋税

古来、書紀抄物の講筈は連綿と行われてきたことは周知のことで、これらの間書間には様々の相違点があることは早くから注目されてきた。中でも注目すべき吉田兼俱・清原宣賢講の間書系写本を影印する。国語学・国語史の資料としてのみならず、文学史・思想史的な活用も期されるべき書。解説増補版。

ISBN978-4-653-01316-7 [86/2] [05/2]

京都大学文学部国語学国文学研究室編
椎名宏雄・大槻 信解説

正法眼蔵

[兩足院叢書]

■ A5判・クロス装・960頁・函入・付解題2編
本体18,000円＋税

日本曹洞宗の開祖・道元が後半生を費やして記し、哲学・思想を和文で表現した画期的文献「正法眼蔵」。その室町時代後期の古写本であり、奥書のあるものでは最古とされる建仁寺兩足院蔵60巻20冊を初影印。独自の奥書を持ちながらこれまで未紹介であった本書は、仏教史・日本思想史・日本語文章史など各界必読の資料である。

ISBN978-4-653-03968-6 [06/7]

京都大学文学部国語学国文学研究室編
木田章義解説

林宗二自筆毛詩抄 (毛詩環翠口義)

[兩足院叢書]

■ A5判・クロス装・総1500頁・付難読箇所一覽
全2冊 本体28,000円＋税

室町時代、「名譽ノ内外ノ和漢ノ学者」と評せられた「饅頭屋宗二」こと林宗二の手になる「毛詩」(詩経)の注釈書。本書は建仁寺兩足院に所蔵される自筆本の影印に解説を付したものである。国語・国語史研究のみならず、室町期の文学、文化史研究にも有用な貴重資料。

ISBN978-4-653-03955-6 [05/1]

京都大学文学部国語学国文学研究室編
太田 亨解説

柳文抄

[兩足院叢書]

■ A5判・クロス装・総804頁・函入
本体15,000円＋税

永祿8年(1565)、林宗二によって書写された兩足院本「柳文抄」(全6冊)を影印、解説を付す。現存二本中の一本である本「柳文抄」は、禪林を代表する文筆僧たちの注解、散逸資料の引用を含んだ柳宗元研究の画期的資料。当時の世相や禪林事情、日本語事情をうかがい知ることができる仏教史・日本語研究の重要資料である。

ISBN978-4-653-04038-5 [10/5]

^{かずと}
上田萬年校訂/佐佐木信綱解説
小島憲之新解説並びに索引

類聚古集

本文篇4冊
索引篇1冊

■ A5判・クロス装・本文篇影印総2,802頁・解説46頁・索引篇124頁
全5冊 本体65,049円＋税

平安時代後期、藤原敦隆により編纂された最初の万葉集類聚書。分類の書としてのみならず、本文の上からも他の万葉集古写本とともに重要な資料であり、平安後期の書として書道史の上でも重んじられている。復刊にあたり、頭注に歌番号を附し索引1冊を加えて、その収載頁・分類項目を検索可能とし、より学術資料として充実させた。

ISBN978-4-653-00087-7 [74/6] [92/7]

木下正俊著

万葉集論考

■ A5判・374頁・函入

本体7,500円＋税

万葉集研究の碩学である著者の、半世紀に及ぶ業績を集大成。「飛鳥の神奈備」「難訓『家古閑』」「巻第十七に見られる対立異文の発生」など、各誌に発表された論文等を加筆・集成し、最終章に生い立ちから万葉集との出会い、これまでの研究生活について綴った「私の万葉集研究半世紀并せて後書き」を収録する。付索引。

ISBN978-4-653-03728-6 [00/7]

築瀬一雄編著

碧冲洞叢書

全100輯
書本16冊

■ A5判・クロス装・平均604頁・本文孔版・付総目録・函入
全16冊 本体192,000円＋税

主として碧冲洞主人、築瀬一雄氏が蔵する中古から江戸時代の稀覯写本(和歌・説話・随筆など多方面にわたる)の翻刻に、氏の研究の成果を加え、昭和33年より15年にわたって刊行された古典籍叢書(孔版)の復刻。本叢書でしか見られないものも多くあり、国文学研究資料の宝庫といえる。

ISBN978-4-653-03172-7 [95/12]

国立歴史民俗博物館蔵/館蔵史料編集会編

貴重典籍叢書 歴史篇18冊
文学篇22冊

■ 菊判・クロス装・平均550頁・貼函入

文学篇 全22冊 本体270,500円＋税

第1巻《勅撰集1》古今和歌集 俊成本	13,000円＋税
第2巻《勅撰集2》拾遺抄・三奏本 金葉和歌集 他	15,000円＋税
第3巻《勅撰集3》後拾遺和歌抄	13,500円＋税
第4巻《勅撰集4》新古今和歌集	12,600円＋税
第5巻《勅撰集5》新古今和歌集 巻一～四・新勅撰和歌集	17,500円＋税
第6巻《私撰集》続詞花和歌集・今撰和歌集・玄玉和歌集	15,000円＋税
第7巻《私家集1》大江千里集・藤原性規集・伯母集 他	11,000円＋税
第8巻《私家集2》玉吟集 三～五	11,000円＋税
第9巻《私家集3》権大納言俊光集・為富卿詠 他	8,900円＋税
第10巻《私家集4》隣女和歌集	16,000円＋税
第11巻《中世定数歌》後柏原院宸翰点取和歌恋 他	10,000円＋税
第12巻《歌学書1》袖中抄 一～七巻	11,000円＋税
第13巻《歌学書2》袖中抄 八～十五巻	11,000円＋税
第14巻《歌学書3》袖中抄 十六～二十巻	11,000円＋税
第15巻《歌学書4》奥義抄 上・僻案抄・井蛙抄 他	12,000円＋税

千葉県佐倉市にある国立歴史民俗博物館が所蔵する貴重典籍(写本)のうち、「高松宮家伝来禁裏本」「田中穰氏旧蔵典籍古文書」を中心に、重文15点、重美3点を含む善本を精選、影印、解題を付し影印・公刊する。本邦初刊の史料を多数含む本書は、わが国の歴史・文学研究に大いに寄する重要資料である。

第16巻《物語1》伊勢物語・大和物語	12,000円＋税
第17巻《物語2》源氏物語古写本六帖	12,000円＋税
第18巻《物語3》源氏物語(帯木・手習)・堤中納言物語	13,000円＋税
第19巻《物語4》原中最秘抄・源氏年立抄 他	11,000円＋税
第20巻《古筆》万葉集 巻十一・伏見院宸翰詠草 他	11,500円＋税
第21巻《漢詩文》白氏文集・新楽府・千載佳句 11,500円＋税	
第22巻《辞書》倭名類聚集	11,000円＋税

歴史篇 全18冊 本体201,500円＋税

第1～6巻 令集解 全6冊 揃本体69,000円＋税
第7～11巻 続日本紀 全5冊 揃本体59,500円＋税
第12～18巻 延喜式 全7冊 揃本体73,000円＋税

〈歴史篇〉 ISBN978-4-653-03520-6 [98/11～01/10]

〈文学篇〉 ISBN978-4-653-03564-0 [99/1～02/9]

京都大学 国文学研究室編
中国文学研究室良基・絶海・和漢聯句譯注
義満等一座

■ 四六判・上製・256頁・カラー口絵5頁

本体3,200円＋税

連歌の泰斗二条良基と五山文学の双璧義堂周信・絶海中津が一座する唯一の和漢聯句を翻刻、注釈・解題を付す。本和漢聯句は、聯句連歌の隆盛期、南北朝中後期において作品の全容が明らかでない資料の一つ。当時の武家の最高権力者足利義満が参加し、連歌史・五山文学史にとって重要であることは勿論、政治史的にも興味深い資料。

ISBN978-4-653-04067-5 [09/3]

京都大学 国文学研究室編
中国文学研究室かんもん
看聞日記紙背 和漢聯句譯注

—「応永二十五年十一月二十五日和漢聯句」を読む—

■ 四六判・上製・256頁・モノクロ口絵2頁

本体3,200円＋税

中世の日記史料として名高い『看聞日記』紙背に残る和漢聯句を翻刻・訳注し、解説を加える。和歌・連歌・俳諧・漢文学・和漢比較文学の貴重資料であることは勿論、室町中期の政界に重要な位置を占めた伏見宮貞成親王と近臣たちとの交流を知りうる文化史・政治史の重要資料。中世に関する諸研究分野にとって広く有益な一冊。

ISBN978-4-653-04077-4 [11/2]

京都大学 国文学研究室編
中国文学研究室

室町前期 和漢聯句作品集

■ A5判・上製・328頁・口絵1頁

本体3,600円＋税

京大大学院文学研究科21世紀COEプログラム「グローバル化時代の多元的人文学の拠点形成」研究会の成果。全国各所に散在する和漢聯句・漢和聯句作品中、享禄以前迄(～1532)に成立した98点の翻刻。立ち遅れている和漢聯句研究の進展に寄与するだけでなく、室町期の公家、五山僧の研究者や俳諧の愛好者にとっても極めて有用な書。

ISBN978-4-653-04007-1 [08/3]

京都大学 国文学研究室編
中国文学研究室

室町後期 和漢聯句作品集

■ A5判・上製・364頁

本体4,000円＋税

科学研究費「和漢聯句の研究」の成果。『室町前期和漢聯句作品集』に引き続き和漢聯句流行の最盛期である室町後期(天文～文禄年間/1532～1596)の和漢・漢和聯句作品を翻刻、『前期』の補遺を付す。『前期』と併せ、室町以前の作品のすべてを網羅的に収録する初の集成。和漢聯句研究に必携の基礎資料。

ISBN978-4-653-04068-2 [10/3]

濱千代清編

和歌連歌用語辞書 ^{ながれ} ^ぎ ^{しゅう} ^{こう} ^{ちゅう}
流木集廣注

■ A5判・クロス装・本文530頁(和歌・連歌・詩句索引20頁)
本体15,000円＋税

『流木集』は、室町時代に宗養らの連歌作者たちによって次第に集成された、連歌に用いる歌語の注解を、いろは順に編んで完結させたもの。発句や付句を随所に挙げて実例を示した点で比類ない資料である。万治2年(1659)の写本を底本に、今回新たに50音順に編成、典拠・証歌・例句等にも広く注を施して利用の便を図った。

ISBN978-4-653-02514-6 [92/11]

木藤才蔵著

さゝめぐとの研究

■ A5判・クロス装・453頁・索引21頁
本体8,447円＋税

心敬の代表的著述『さゝめぐと』の研究書として定評ある名著『校註さゝめぐと』(昭和27年刊)に、さらに研究篇1章を書き加え、翻刻部頭註にも改訂を施すなど、全面的な補訂を加えた『さゝめぐと』研究の決定版。心敬研究はもとより、連歌や中世文学をめぐる研究にも欠くことのできない基本文献といえる。

ISBN978-4-653-02165-0 [90/9]

井上敏幸著

貞享期芭蕉論考

■ A5判・クロス装・374頁
本体7,282円＋税

貞享期(1684～1688)の芭蕉に焦点をあてた論文集。『甲子吟行』跋文への疑義から最近の論文まで14篇を収める。『甲子吟行』、『あつめ句』、『かしまの記』、『笈の小文』、真蹟写[近江・美濃路記行]、『更科記行』の諸作品を扱い、貞享期全体を見通すものとなっている。続く元禄期の芭蕉の作品、創作上の問題点等を考えるうえでも重要な論考。

ISBN978-4-653-02376-0 [92/4]

天明俳書集刊行会編／大谷篤蔵ほか解題

天明俳書集 60種 合本8冊

■ A5判・クロス装・平均450頁・貼函入
全8冊 本体116,505円＋税

蕪村・几董の書冊をはじめ、江戸時代宝暦末より寛政初に至る時期を代表する稀覯俳書を主として刊行地別に編成、解題に付き、解説を加える。それぞれの俳人たちの懐かし版下筆蹟や初版印刷本のおもかげを伝えるとともに、天明俳書特有の文化的香気の再現を図る。60篇66冊を収録。カラー口絵各巻1-2葉付。

ISBN978-4-653-02239-9 [91/10]

管 宗次解題

百人一首一夕話 ^{ひと} ^よ ^{がたり}

■ A5判・クロス装・総996頁・解題/年譜30頁・カバー付・二色刷
全2冊 本体18,447円＋税

書目解題の大著『群書一覽』で知られる町人学者・尾崎雅嘉(1755～1827)の著した『百人一首一夕話』は、歌人の伝記や逸話、挿絵を収載した小倉百人一首の注釈書。従来知られてきた天保4年刊の板本とは大きな異同を含む自筆草稿の影印本。特に雅嘉自筆の挿絵と多くの逸話は注目される。近世文学・出版文化の研究に貴重な資料。

ISBN978-4-653-02588-7 [93/11]

京都大学文学部国語学国文学研究室編

京都大学蔵 **貴重連歌資料集** 全6巻7冊

■ A5判・クロス装・平均580頁・貼函入
全7冊 本体88,900円＋税

複雑な式目や独特の座の世界を持つ連歌は、和歌の世界に新しい息吹を与え、近世の学問・文芸を産む源となった、日本文学の歴史における重要な分野である。京都大学所蔵の連歌資料を精選、影印・翻刻し、詳細な解題を付す。連歌研究のみならずひろく中世文芸研究に資する貴重資料。

ISBN978-4-653-03850-4 [01/12～04/2]

第1巻 連歌秘伝抄・初心求詠集・連歌初学抄・かたはし・連歌作法

本体12,000円＋税

第2巻 萱草(谷村本)・萱草(頼原本)・老葉注・専順独吟

本体13,000円＋税

第3巻 園塵・軽塵・住吉法楽千句・宗長連歌自注(『貞徳筆』)

本体14,400円＋税

第4巻 上 初学用捨抄・伊勢千句注(清家本)・伊勢千句注(谷村本)(『天正八年連歌』)
下 伊勢千句注(「長頼高吟千句集」)・伊勢千句注(「山田千句」)

本体24,000円＋税

第5巻 伊庭千句・花千句・大原三吟

本体11,500円＋税

第6巻 称名院追善千句注・賦山何連歌・懐旧之連歌(『紹巴連歌』)他

本体14,000円＋税

松野陽一著

東都武家雅文壇考

■ A5判・上製・510頁

本体4,500円＋税

十七世紀中ごろ以降、藩毎に上方公家で歌学を学び詠作能力を身につけた地下歌人を藩歌壇の指導者格に迎え、高い水準の歌作が行われるようになった。本書はこの時期から幕末に至る江戸武家歌壇を対象とした江戸の堂上系の武家歌壇についての基礎研究書である。従来の近世和歌史における未開拓領域における道標となるべき書である。

ISBN978-4-653-04112-2 [12/10]

管 宗次著

富士谷御杖の門人たち

■ 四六判・並製・244頁

本体2,600円＋税

京都の近世後期から明治末期に栄えた、富士谷成章を祖と仰ぐ近世和歌の一派、北辺門。四具(文法)研究という独自の研究分野を持ち、類型を見ない歌論と歌風を確立しながら、これまで取り上げられることのなかった北辺門の人々の伝記と著述、和歌を中心に考察する。

ISBN978-4-653-03799-6 [01/9]

管 宗次著

幕末明治 上方歌壇人物誌

■ 四六判・292頁・カバー付

本体2,330円＋税

言霊学者・高橋残夢、「歌の神」住吉大社神主・津守国美をはじめ、近世後期から明治期にかけて上方歌壇を支え、彩りながらも今まであまり取りあげられることのなかった歌人たちを紹介し、論考する。更に多数の自筆短冊のほか『宮古現存和歌者流 梅桜三十六家選』『浪華人物誌』など貴重資料も収録する。

ISBN978-4-653-02580-1 [93/9]

大取一馬編

浄土真宗玉林和歌集

■ A5判・クロス装・250頁

本体5,000円＋税

江戸中期の真宗の宗史家、先啓(1720～97)が編纂した『浄土真宗玉林和歌集』。法然・親鸞・蓮如等、真宗にまつわる僧侶の詠んだとされる歌を中心に、930余首の浄土真宗の和歌を集めた同書についての研究論文や書誌をまとめた〈研究篇〉、貴重な版本をもとに翻刻した〈翻刻篇〉に初句索引を付す。

ISBN978-4-653-03754-5 [01/12]

京都大学文学部国語学国文学研究室編

京都大学蔵 むろまちものがたり 全12巻

■ A5判・クロス装・平均400～600頁・貼函入

全12巻 本体134,100円＋税

室町物語、あるいは御伽草子は、様々な種類の版本、写本が残されているため、異本や別本も多く、これまでに編まれた叢書に漏れたものも多い。今回、京都大学の所蔵する約120種の室町物語から、新出のもの、未紹介のもの、写本を中心に、46種を厳選して影印、翻刻・解題を付す。

ISBN978-4-653-03740-8 [00/10～03/6]

- | | | |
|------|-----------------------------|-------------|
| 第1巻 | しずか(三種)・緑弥生・富士草紙 | 本体11,000円＋税 |
| 第2巻 | 糸ほしおりさうし・雨やどり・仏鬼軍 | 本体11,000円＋税 |
| 第3巻 | しほやきぶんしやう・天竺物語・ほうざうびくのさうし | 本体11,000円＋税 |
| 第4巻 | ぎわう・車僧の巻物・祇園牛頭天王御縁起・白ぎくさうし他 | 本体11,000円＋税 |
| 第5巻 | 玉ものまへ・天神御縁起・東勝寺鼠物語 | 本体9,800円＋税 |
| 第6巻 | さよひめ・いはや・ほうらい物語 | 本体13,000円＋税 |
| 第7巻 | ぶん正・たなばた・たまものまへ | 本体12,000円＋税 |
| 第8巻 | まんぢう・諸虫太平記・魚太平記・草木太平記 | 本体12,500円＋税 |
| 第9巻 | きぶねの本地・ふくらう・衣更着物語・紫式部の巻 | 本体11,000円＋税 |
| 第10巻 | たま藻のまへ・たまも・はちかつき・七くさ・付喪神 | 本体9,800円＋税 |
| 第11巻 | 四十二の物あらしひ・西行物語・かむ丞相・ぎわう物語 | 本体11,000円＋税 |
| 第12巻 | きぶね・花みつ・ぶんしやう・たまみづ物語・所蔵目録 | 本体11,000円＋税 |

叡山文庫天海蔵／中野真麻理編・著

一乗拾玉抄影印 一乗拾玉抄の研究

■ A5判・クロス装・(影印) 770頁(研究) 360頁(分売不可)

全2冊 本体26,000円＋税

長享2年、防州吉敷郡水上山興隆寺の僧叡海によって類聚された本書は、室町時代に盛行した『法華経』全巻にわたる「直談」の中でも初期に属するものである。「天下の孤本」と呼ばれ叡山文庫天海蔵に唯一残る明応2年の写本を影印複製、細心綿密な研究篇と共に刊行する。仏教經典研究、中世説話文学研究に必携の書。

ISBN978-4-653-03592-3 [98/12]

小高敏郎著

新訂 松永貞徳の研究 正・続

■ A5判・クロス装・(正)428頁・(続)560頁

(正)品切 (続)本体8,600円＋税

安土桃山期から江戸時代初頭の人、松永貞徳は、幼少より紹巴、幽斎らに学び、歌人・歌学者として中世文化遺産の集大成に優れた業績を残すと共に、和歌を新興庶民層に広め、また貞門俳諧の指導者となり近世文芸の基礎を築き上げた。その事跡・著作を詳細に考究した名著を、著者の加筆訂正本に基づいて新訂再刊する。

ISBN978-4-653-01764-6 [88/7][89/1]

京都大学大学院・文学研究科編

世界の中の『源氏物語』

—その普遍性と現代性—

■ A5判・上製・290頁

本体3,600円＋税

京都大学文学研究科国際シンポジウム「世界の中の『源氏物語』—その普遍性と現代性—」(2008)での口頭発表及び基調講演の書籍化。千年もの間、文学のみならず、美術・工芸・芸能・服飾等幅広い領域に影響を与え、現代では外国語訳され、翻案され、新たな読者を獲得し続ける『源氏物語』の本質に立体的に迫る。

ISBN978-4-653-04069-9 [10/2]

絵詞研究会編

中宮物語絵巻の研究

■ A5判・クロス装・218頁・全図版カラー口絵

本体4,600円＋税

白描物語絵の系譜をひく室町初期の優品「中宮物語絵巻」(京都国立博物館保管)を美術・文学の両面から研究した成果。残念ながら物語の後半は失われているが、悲恋物語であると推論されている。影印・翻字・釈文・現代語訳と、解説として「中宮物語絵巻について」(若杉準治)他、5本の論説から多角的に孤本「中宮物語絵巻」にせまる好著。

ISBN978-4-653-03966-2 [06/5]

本巻 野間光辰編／新索引 木田章義監修・林泰弘編

新修 京都叢書

本巻2,3巻
新索引2巻

■ A5判・クロス装・本巻平均590頁・新索引総898頁

〈本巻〉23冊揃 本体173,500円＋税
〈新索引〉24・25巻 本体25,000円＋税

「京童」「京雀」等、京都に関わる江戸期の代表的な書物を集大成。洛中・洛外の社寺、名所旧跡、地誌、年中行事、諸職名匠、各町の由来、沿革と変遷など、近世京都の姿を余すところなく伝える。本文は原本との厳密な校訂を施し、異同は頭注に記した。新たに、「和歌・俳諧類索引」約4千項目を含む約5万項目を収録した新索引を刊行。〈詳細は63頁〉 ISBN978-4-653-03944-0 (全25冊)-02596-2 (本巻)-03943-3 (新索引)

[67/9～06/4]

京都大学文学部国語学国文学研究室編
編集代表 日野龍夫

京都大学蔵 大惣本稀書集成

全17冊
別巻1冊

■ 菊判・クロス装・貼函入・平均430頁・カラー挿絵入

全18冊 本体224,600円＋税

江戸中期から百数十年間、全国一の規模で貸本屋を営んでいた名古屋の大野屋惣八の旧蔵本を、京都大学附属図書館蔵本から未翻刻の文学書を中心に稀観善本を精選、翻刻(一部影印)。近世の貸本屋は図書館であり、学校でもあった。日本最大の貸本屋の蔵書を取めた本集成は、江戸文学・文化・風俗研究の基本文献として必備の双書。

ISBN978-4-653-02727-0 [94/4～97/1]

第1巻	浮世草子(花鳥百談・北州列女伝 他)	11,500円＋税
第2巻	談義本・滑稽本(老子形気・乗合嘶 他)	11,500円＋税
第3巻	読本I(通俗医王者婆伝・両剣奇遇 他)	12,000円＋税
第4巻	読本II(国字鶴物語・物草太郎 他)	13,000円＋税
第5巻	筆記(管我物語評判・小栗実記)	13,800円＋税
第6巻	実録(金氏奇政録・照朝賢婦秘鑑)	11,000円＋税
第7巻	雑誌I(古今大著聞集・石曲秘談抄)	13,000円＋税
第8巻	雑誌II(本朝故事因縁集・本朝国語 他)	12,300円＋税
第9巻	歌舞伎台帳(日本花赤城塩蔵 他)	11,400円＋税

第10巻	歌書(和歌七部之抄・哥仙金玉抄 他)	14,500円＋税
第11巻	連歌(玉拾集・山迹七字城)	12,500円＋税
第12巻	絵本(珍画譜・画話鳥島斎 他)	10,600円＋税
第13巻	写本小説(三木章・双刀英雄談 他)	13,000円＋税
第14巻	名古屋戯作(宮駅珍話・中富弘返答 他)	13,500円＋税
第15巻	仏書(念死念仏集・談義まいり 他)	13,000円＋税
第16巻	教訓書(不可得物語・一休法利はなし 他)	13,900円＋税
第17巻	語学(和漢初学便蒙(和漢新撰下学集))	9,600円＋税
別巻	改定京都大学蔵大惣本目録(補訂版)	14,500円＋税

中前正志著

神仏霊験譚の息吹き

—身代わり説話を中心に—

■四六判・上製・356頁

本体2,600円＋税

涙を流す不動尊、女の髪を手に巻きつけた地藏、矢を持った地藏……一般的な像とは異なるこうした神仏の姿にはどのような由来があるのか。「身代わり」をキーワードに、古代から近世、仏教から金光教まで幅広く神仏がその不思議な力によって信者を助ける霊験譚を集め、丁寧に資料を読み解き考察を加える。

ISBN978-4-653-04078-1 [11/8]

本多朱里著

柳亭種彦 一読本の魅力

■四六判・上製・258頁

本体2,500円＋税

江戸時代のベストセラー戯作者、柳亭種彦。本書は、これまで注目されてこなかった彼の読本執筆期に焦点を当てる。彼の作風や特徴はどのようにして形成されたか。またなぜ読本執筆をやめたのか。絵師葛飾北斎や版元西村屋与八との交流、当時の出版界や戯作者たちの動向を明らかにするとともに、種彦の読本の魅力をさぐる。

ISBN978-4-653-03964-8 [06/5]

長友千代治編・解説・索引

重宝記資料集成

—生活史百科事典—

■A5判・クロス装・平均450頁

〈本巻〉45冊揃 本体397,400円＋税
〈別巻〉品切

重宝記とは、近世から近代にかけて刊行・書写され、庶民の実用書として読まれてきた書物であり、内容は、家庭生活の事柄から医・薬方、農・工・商業、礼法、俗信など生活万般にわたる。庶民の知識・風俗・芸術など、社会生活の諸相を反映した第一等の文献資料「重宝記」約250点を精選して影印、解題・索引を付して公開。〈詳細は35頁〉

ISBN978-4-653-03860-3 [04/8～09/3]

長友千代治著

重宝記の調方記

—生活史百科事典発掘—

■四六判・上製・490頁

本体3,000円＋税

江戸時代から近代にかけて庶民向けに400点以上刊行された独習書「重宝記」。ハンディな懐中本から大型本まで形も様々なら、内容も常識・教養から農工業・医薬の専門知識、口伝・秘術まで多方面に及ぶ。「重宝記」とはなにかという基礎知識から説きおこし、代表的な書物を紹介した初めての「重宝記ガイドブック」。

ISBN978-4-653-03941-9 [05/9]

朴賛基著

江戸時代の朝鮮通信使と日本文学

■A5判・上製・282頁

本体3,200円＋税

江戸時代の朝鮮通信使は、日本文学に様々な形で影響を与えた。当時の文化交流の実態を探りつつ、近世期流行した「唐人殺し」を中心に、通信使に取材した文学作品の成立・変遷過程を追う。2003年韓国学術院の優秀図書に選ばれた『朝鮮通信使と日本近世文学』を著者自身の手で翻訳・増補。韓国側からの視点を知る上でも意義ある一冊。

ISBN978-4-653-03965-5 [06/10]

朴真実著

「朝鮮資料」による
中・近世語の再現

■A5判・上製・464頁・函入

本体15,000円＋税

日本・朝鮮の両言語を熟知した著者による、「朝鮮資料」による中・近世語の再現の試みである。双方方向の影響関係に着目し、歴史的な事柄、文化背景にまで踏み込んで両言語の分析を行うなど、「朝鮮資料」の新たな研究方法にも言及し、言語のみならず文学・歴史研究への活用をも示唆する本書は、広範な分野での研究に資するものである。

ISBN978-4-653-04113-9 [13/2]

小野芳朗著

調と都市 一能の物語と近代化—

■四六判・上製・282頁

本体2,600円＋税

都市形成史、環境史の研究者で、能役者でもある著者が独自の視点と知見で描き出す、能をとりまく人々と都市の物語。幕末から明治にかけての変動の時代、能役者だけにとどまらず、藩主として、官吏として、学者として、文人として、様々な形で能と関わった人々の人生を、能の調(しらべ)の織りなす空間の変遷と共に明らかにする。

ISBN978-4-653-04047-7 [10/11]

小田良弼著

詩的言語序説

■A5判・クロス装・354頁

本体7,500円＋税

本書は文芸と言語に関する論考の中から原本的
文芸に関するもの13篇を収める。文芸現象はもど
もと言葉の世界に形成される芸術現象であり、こ
れを捨象しては捉えられない。著者は、道元、親
鸞やランボオ等を引き、「有時」としての言語行為
の行為的自覚として成立し得る文学について明澄
性と美的な論理の整合性を併せ持つ文章で綴る。

ISBN978-4-653-00791-3 [82/11]

国文学研究資料館編

明治開化期と文学

—幕末・明治期の国文学—

■A5判・304頁・カバー付

本体4,200円＋税

近世・近代という別の時代として線引きされて
きた幕末から明治初期への国文学の流れを、歴史
情勢・新聞投書・出版・書・俳諧・漢文学など様々
なテーマでとらえ、その連続性を論証する。近代
以前の文献資料を調査・収集してきた国文学研究
資料館が新たに研究会を設け、三年の研究期間を
経て発表する6篇の論文集。

ISBN978-4-653-03493-3 [98/3]

小島元雄著

演劇の魅力

—明治・大正・昭和の東西演劇—

■四六判・250頁・カバー付

本体2,524円＋税

西洋人からみた日本演劇、関東震災のため可
能となった東京役者の関西興行、小山内薫・菊池
寛らの講演・講義——本書では、明治から昭和初
期に至る日本と西洋の演劇が、著者の目を通して
躍然と語られる。感性で見た演劇の体験と、長年
にわたる精緻な研究の成果により、芝居における
「見る」と「知る」とを教えてくれる珠玉の一篇。

ISBN978-4-653-02515-0 [92/11]

